

別表(1)
法学部法律学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	└ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		└
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
憲法		4		┌
民法総則		4		8科目32単位必修
物権法		4		
債権総論		4		32単位を超えて修得した場合,
債権各論		4		選択科目の修得単位とする
商法総則・商行為法		4		
会社法		4		

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
刑法総論		4		
刑法各論		4		
民事訴訟法		4		
刑事訴訟法		4		
国際法総論		4		
行政法		4		
行政救済法		4		
労働法		4		
国際法各論		4		
教育法			4	
親族法・相続法			4	
民事執行法			4	
法律学演習			2	8単位まで履修可
手形法・小切手法			4	
保険法・海商法			4	
英米法			2	
日本法制史			4	
西洋法制史			4	
刑事政策			4	
倒産法			2	
法哲学			2	
政治学			2	4単位まで履修可
社会経済学A			2	
社会経済学B			2	
経済政策論A			2	
経済政策論B			2	
労使関係論			4	
法律学特講			2	8単位まで履修可
法思想史			2	
情報学入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	
卒業論文			4	
※人文地理学概論(1)			2	※は教職・教科専門科目
※人文地理学概論(2)			2	卒業所要単位外
※自然地理学概論(1)			2	
※自然地理学概論(2)			2	
※人文地理学特講(地域・産業・生活)			4	
※自然地理学(地形)			4	
※自然地理学(気候・気象)			4	
※自然地理学(海洋・陸水)			4	
※歴史地理学			4	
※地誌学概論			4	
※世界地誌(1)(アジア)			4	
※世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)			4	
※世界地誌(3)(欧・アフリカ)			4	
※日本地誌(1)(自然編)			4	
※日本地誌(2)(人文編)			4	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

文学部日本文学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	┌ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		└
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
文学コース				
文学概論	4			
日本文芸史Ⅱ	4			
日本言語史			4	
日本文法論			4	
日本芸能史			4	
日本美術史			4	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
言語コース				
日本語史	4			
日本文法論	4			
文学概論			4	
日本文芸史Ⅱ			4	
日本芸能史			4	
日本美術史			4	
芸能文化コース				
日本芸能史	4			
日本美術史	4			
文学概論			4	
日本文芸史Ⅱ			4	
日本語史			4	
日本文法論			4	
コース共通科目				
日本文芸学概論	4			
日本文芸史Ⅰ	4			
日本語学概論	4			
卒業論文	8			
日本文芸研究特講・上代		4		┌ 20単位以上必修 20単位を超えて修得した場合、 選択科目の修得単位とする └
日本文芸研究特講・中古		4		
日本文芸研究特講・中世		4		
日本文芸研究特講・近世		4		
日本文芸研究特講・近代		4		
日本文芸研究特講・現代		4		
日本文芸研究特講・言語		4		
日本文芸研究特講・漢文		4		
日本文芸研究特講・韻文		2		
日本文芸研究特講・演劇		2		
日本文芸研究特講・児童文芸		2		
日本文芸研究特講・沖縄文芸		2		
日本文芸研究特講・特域		2		
日本文芸研究特講・日本学		2		
日本文芸研究特講・音楽芸能史		2		
日本文芸研究特講・祭りと芸能		2		
中国文芸史			4	
西洋美術史			4	
社会思想史			4	
比較文学			4	
書道史			2	
書道実技			2	スクーリング1単位以上を含むものとする
レポート作成基礎講座			2	
卒業論文作成講座			2	
情報学入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

文学部史学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	┌ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		└
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
卒業論文	8			
史学概論	4			
日本史概説	4	2		┌
西洋史概説	4	2		左記5科目のうち,
東洋史概説	4	2		4科目8単位を面接授業
史学演習1	2			による必修選択とする
史学演習2	2			└

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
史学演習3			2	
史学演習4			2	
日本美術史			4	┌
日本近代史			4	
日本史特講(日本思想史)			4	
日本史特講(日本仏教史)			4	1科目以上必修
日本近世史			4	
日本古代史			4	
日本中世史			4	
日本法制史			4	
日本史特講(社会史)			4	
日本史特講(地域社会史)			4	
日本古文書学			4	└
東洋史特講(中国思想史)			4	┌
東洋史特講(中国近世史)			4	
東洋史特講(東南アジア史)			4	
東洋美術史			4	1科目以上必修
東洋史特講(中国経済史)			4	
日本文芸研究特講・漢文			4	
東洋史特講(中国現代史)			4	└
経済史A			2	┌
経済史B			2	
西洋史特講(西洋哲学史)			4	
西洋美術史			4	
西洋史特講(キリスト教史)			4	1科目以上必修
西洋史特講(ロシア史Ⅰ)			2	
西洋史特講(ロシア史Ⅱ)			2	
西洋史特講(アメリカ史)			4	└
日本史特講(対外関係史)			4	
日本考古学			4	
文化地理学			4	
経済地理学			4	
歴史資料学1			2	
歴史資料学2			2	
歴史資料学3			2	
歴史資料学4			2	
歴史資料学5			2	
歴史資料学6			2	
情報学入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	
※人文地理学概論(1)			2	※は教職・教科専門科目
※人文地理学概論(2)			2	卒業所要単位外
※自然地理学概論(1)			2	
※自然地理学概論(2)			2	
※人文地理学特講(地域・産業・生活)			4	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
※自然地理学(地形)			4	
※自然地理学(気候・気象)			4	
※自然地理学(海洋・陸水)			4	
※地誌学概論			4	
※歴史地理学			4	
※世界地誌(1)(アジア)			4	
※世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)			4	
※世界地誌(3)(欧・アフリカ)			4	
※日本地誌(1)(自然編)			4	
※日本地誌(2)(人文編)			4	
※国際法総論			4	
※政治学			2	
※憲法			4	

附

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

文学部地理学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	┌ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		┌
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
人文地理学概論(1)	2			
自然地理学概論(1)	2			
地理調査法(人文編)	4			
地理調査法(自然編)	4			
現地研究	1			2回2単位必修
人文地理学演習	2	2		┌ それぞれ2単位を超えて修得した場合は,
自然地理学演習	2	2		┌ 1回2単位まで選択必修科目とする
卒業論文	8			

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
自然地理学概論(2)		2		36単位 以上 必修
地学概論		4		
自然地理学(地形)		4		
自然地理学(生物・土壌)		4		
自然地理学(気候・気象)		4		
自然地理学(海洋・陸水)		4		
人文地理学概論(2)		2		
経済地理学		4		
人文地理学(都市)		4		
人文地理学(農業)		4		
人文地理学特講(地域・産業・生活)		4		
文化地理学		4		
歴史地理学		4		
地誌学概論		4		
日本地誌(1)(自然編)		4		
日本地誌(2)(人文編)		4		
世界地誌(1)(アジア)		4		
世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)		4		
世界地誌(3)(欧・アフリカ)		4		
地誌学特講		2		
地図学		4		
測量学及び測量実習(1)		2		
測量学及び測量実習(2)		2		
写真・読図演習(1)		2		
写真・読図演習(2)		2		
地理情報システム(GIS)(1)		2		
地理情報システム(GIS)(2)		2		
人文地理学特講			2	科目問わず
自然地理学特講			2	合計4単位まで履修可
地理特講(人文地理学演習)			2	人文地理学演習を4単位を超えて修得した場合
地理特講(自然地理学演習)			2	自然地理学演習を4単位を超えて修得した場合
地理特講(地誌学特講)			2	地誌学特講を2単位を超えて修得した場合
地域特講(現地研究)			1	現地研究を2単位を超えて修得した場合2単位まで履修可
史学概論			4	
日本史概説			4	
東洋史概説			4	
西洋史概説			4	
社会経済学A			2	
社会経済学B			2	
日本史特講(日本仏教史)			4	
日本史特講(日本思想史)			4	
西洋史特講(西洋哲学史)			4	
西洋史特講(キリスト教史)			4	
東洋史特講(中国現代史)			4	
西洋史特講(ロシア史Ⅱ)			2	
情報学入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	
※国際法総論			4	※は教職・教科専門科目 卒業所要単位外
※政治学			2	
※憲法			4	

附

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

経済学部経済学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	┌ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		└
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
社会経済学A		2		┌
社会経済学B		2		24単位以上必修
経済学入門A		2		
経済学入門B		2		
統計学A		2		
統計学B		2		
経済史A		2		

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
経済史B		2		
簿記 I		2		
簿記 II		2		
ミクロ経済学A		2		
ミクロ経済学B		2		
マクロ経済学A		2		
マクロ経済学B		2		
国際経済論A		2		
国際経済論B		2		
環境経済論A		2		
環境経済論B		2		
財政学A		2		
財政学B		2		
金融論A		2		
金融論B		2		
経済政策論A		2		
経済政策論B		2		
社会保障論A		2		
社会保障論B		2		
開発経済入門A		2		
開発経済入門B		2		
国際貿易論A		2		
国際貿易論B		2		
経営学総論 I			2	
経営学総論 II			2	
会計学入門 I			2	
会計学入門 II			2	
簿記III			2	
簿記IV			2	
マーケティング論 I			2	
マーケティング論 II			2	
日本経済論A			2	
日本経済論B			2	
ビジネス英語A			2	
ビジネス英語B			2	
現代ファイナンスA			2	
現代ファイナンスB			2	
財務会計論 I			2	
財務会計論 II			2	
原価計算論 I			2	
原価計算論 II			2	
管理会計論 I			2	
管理会計論 II			2	
国際金融論 I			2	
国際金融論 II			2	
労働経済論A			2	
労働経済論B			2	
憲法			4	
民法一部(総則・物権法)			4	
民法二部(債権法)			4	
商法総則・商行為法			4	
会社法			4	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
手形法・小切手法			4	
労働法			4	
社会経済思想史			4	
経済地理			4	
経済学特講			2	8単位まで履修可
経営学特講			2	8単位まで履修可
演習			2	4単位まで履修可
コンピュータ入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	
卒業論文			6	
※人文地理学概論(1)			2	※は教職・教科専門科目
※人文地理学概論(2)			2	卒業所要単位外
※自然地理学概論(1)			2	
※自然地理学概論(2)			2	
※人文地理学特講(地域・産業・生活)			4	
※自然地理学(地形)			4	
※自然地理学(気候・気象)			4	
※自然地理学(海洋・陸水)			4	
※歴史地理学			4	
※地誌学概論			4	
※世界地誌(1)(アジア)			4	
※世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)			4	
※世界地誌(3)(欧・アフリカ)			4	
※日本地誌(1)(自然編)			4	
※日本地誌(2)(人文編)			4	
※国際法総論			4	
※政治学			2	

附

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

経済学部商業学科設置科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
一般教育科目				
人文分野				┌
文学		4		
西洋史		4		
日本史		4		
哲学		4		
東洋史		4		
論理学		4		
社会分野				
法学(日本国憲法)		2		
法学		2		
経済学		4		
人文地理学		4		人文分野, 社会分野,
自然地理学		4		自然分野はそれぞれ8単位以上,
政治学概論		4		合計36単位以上
社会学		4		
文化人類学		4		
心理学		4		
自然分野				
数学1		2		
数学2		2		
数学3		2		
生物学1		2		
生物学2		2		
生物学3		2		
化学1		2		
化学2		2		
化学3		2		
物理学1		2		
物理学2		2		
物理学3		2		
基礎特講			2	┌ 4単位まで履修可
外国語科目				
英語2		2		┌
英語3		2		いずれか1外国語4単位を
英語S		1		必修とし, そのうち当該
独語1		2		S科目(面接授業)を
独語S		1		2単位以上含むものとする。
仏語1		2		
仏語S		1		└
保健体育科目				
健康・スポーツ科学概論		2		いずれか1科目2単位
スポーツ総合演習		2		
専門教育科目				
経済学入門Ⅰ		2		┌
経済学入門Ⅱ		2		20単位以上必修
簿記Ⅰ		2		
簿記Ⅱ		2		
統計学入門		2		
経営学総論Ⅰ		2		
経営学総論Ⅱ		2		

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
経営管理論Ⅰ		2		
経営管理論Ⅱ		2		
会計学入門Ⅰ		2		
会計学入門Ⅱ		2		
経営戦略論Ⅰ		2		
経営戦略論Ⅱ		2		
金融論Ⅰ		2		
金融論Ⅱ		2		
マーケティング論Ⅰ		2		
マーケティング論Ⅱ		2		
簿記Ⅲ		2		
簿記Ⅳ		2		
経営組織論			2	
人的資源管理論Ⅰ			2	
人的資源管理論Ⅱ			2	
事業創造論			2	
財務会計論Ⅰ			2	
財務会計論Ⅱ			2	
原価計算論Ⅰ			2	
原価計算論Ⅱ			2	
管理会計論Ⅰ			2	
管理会計論Ⅱ			2	
監査論Ⅰ			2	
監査論Ⅱ			2	
税務会計Ⅰ			2	
税務会計Ⅱ			2	
経営分析論Ⅰ			2	
経営分析論Ⅱ			2	
会計情報論Ⅰ			2	
国際金融論Ⅰ			2	
国際金融論Ⅱ			2	
日本経営論			2	
ファイナンス論Ⅰ			2	
ファイナンス論Ⅱ			2	
消費者行動論			2	
広告論			2	
現代経済学Ⅰ			2	
現代経済学Ⅱ			2	
社会経済学Ⅰ			2	
社会経済学Ⅱ			2	
経済史Ⅰ			2	
経済史Ⅱ			2	
統計学Ⅰ			2	
統計学Ⅱ			2	
財政学Ⅰ			2	
財政学Ⅱ			2	
マクロ経済学Ⅰ			2	
マクロ経済学Ⅱ			2	
国際経済論Ⅰ			2	
国際経済論Ⅱ			2	
環境経済論Ⅰ			2	
環境経済論Ⅱ			2	

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
経済政策論Ⅰ			2	
経済政策論Ⅱ			2	
日本経済論Ⅰ			2	
日本経済論Ⅱ			2	
憲法			4	
民法一部(総則・物権法)			4	
民法二部(債権法)			4	
商法総則・商行為法			4	
会社法			4	
手形法・小切手法			4	
労働法			4	
社会思想史			4	
経済地理			4	
経済学特講			2	8単位まで履修可
経営学特講			2	16単位まで履修可
演習			2	4単位まで履修可
情報学入門			2	
データサイエンス入門A			2	
データサイエンス入門B			2	
データサイエンス応用基礎A			2	
データサイエンス応用基礎B			2	
データサイエンス応用基礎C			2	
総合特講			2	16単位まで履修可
総合外国語特講			2	
スポーツ特講			2	
卒業論文			6	
※職業指導			4	※は教職・教科専門科目卒業所要単位外

附

- 1 卒業論文は、3年以上在学し、所定の単位を修得した後に、申請を行って許可されたものでなければ、提出することができない。
- 2 卒業論文の審査に際し、面接試問を行うことができる。

別表(2) 教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科の指導法

授業科目	履修単位
教育原理	2
教職入門	2
教育の制度・経営	2
教育心理学	2
特別な教育的ニーズの理解と支援	2
教育課程論	2
道徳教育指導論	2
総合的な学習の時間の指導法	2
特別活動論	2
教育方法論 (ICT活用を含む)	2
生徒・進路指導論	2
教育相談	2
生徒・進路指導論	2
教育実習 (中・高)	5
教育実習 (高)	3
教職実践演習 (中・高)	2
国語科教育法 I	4
国語科教育法 II	4
社会・地歴科教育法	4
社会・公民科教育法	4
商業科教育法	4

別表(3) 学生納付金

本科生

項 目	学 部	
	法 学 部	文 学 部 経 済 学 部
(入 学) 選 考 料	10,000円	
入 学 金	30,000円	
転・編 入 料	20,000円	
教 育 費	90,000円	
休 学 在 籍 料	40,000円	
再 入 学 金	30,000円	
復 籍 料	30,000円	
再 度 の 入 学 金	30,000円	
転籍・転部・転科料	10,000円	
卒 業 論 文 審 査 料	10,000円	
科 目 登 録 料 (1単 位)	3,000円	
教 育 実 習 費	24,000円	
教 育 実 習 事 前 指 導 費	6,000円	
介 護 等 体 験 費	13,000円	
資 格 科 目 履 修 料	半 期 (1科 目)	10,000円
	通 年 (1科 目)	20,000円

科目等履修生

項 目	金 額	
入 学 選 考 料	10,000円	
登 録 料 (継 続 料)	30,000円	
科 目 登 録 料	科 目 登 録 料 (1単 位)	5,000円
	科 目 登 録 料 (書 道 実 技)	10,000円
教 育 実 習 費	24,000円	
教 育 実 習 事 前 指 導 費	6,000円	
介 護 等 体 験 費	13,000円	

面接授業及びメディア授業受講料(2024年度から全在學生に適用する。)

項 目	学 部	
	法 学 部	文 学 部 経 済 学 部
対 面 スク ー リ ン グ (地 方 スク ー リ ン グ を 除 く) (1科 目)	15,000円	
対 面 スク ー リ ン グ (地 方 スク ー リ ン グ) (1科 目)	20,000円	
メ デ ィ ア スク ー リ ン グ (1科 目)	20,000円	
オ ン ラ イ ン スク ー リ ン グ (1科 目)	20,000円	

別表(4)図書館司書に関する科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
生涯学習入門Ⅰ	2			
生涯学習入門Ⅱ	2			
図書館情報学概論Ⅰ	2			
図書館情報学概論Ⅱ	2			
図書館制度・経営論	2			
図書館サービス概論	2			
児童サービス論	2			
情報サービス論	2			
情報サービス演習	4			
図書館情報資源概論	2			
図書館情報資源特論	2			
情報資源組織論	2			
情報資源組織演習	4			
図書館演習	4			

別表(5)司書教諭に関する科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
学校経営と学校図書館	2			基礎資格 教育職員免許法に定める 教諭普通免許状を有する こと。
学習指導と学校図書館	2			
学校図書館メディアの構成	2			
読書と豊かな人間性	2			
情報メディアの活用	2			

別表(6)社会教育主事・社会教育士に関する科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択必修	選択	
生涯学習入門Ⅰ	2			┌ 8単位以上 └
生涯学習入門Ⅱ	2			
社会教育経営論	4			
生涯学習支援論Ⅰ	2			
生涯学習支援論Ⅱ	2			
社会教育演習	4			
社会教育実習	2			
図書館情報学概論Ⅰ		2		
図書館情報学概論Ⅱ		2		
博物館概論		2		
博物館資料論		2		
社会教育活動Ⅰ		2		
社会教育活動Ⅱ		2		
博物館情報・メディア論		2		
教育原理		2		
教育の制度・経営		2		
現代生活・文化と社会教育Ⅰ		2		
現代生活・文化と社会教育Ⅱ		2		

別表(7) 人材養成その他教育研究上の目的一覧

学部	学科	目的
法	法律	<p>法学部では、日本最古の私立法律学校としての本学の伝統をふまえ、建学の精神たる「自由と進歩」の実現に向けて、以下のような人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リーガル・マインドのある人材 2. 法学の素養を身につけ、広く社会に貢献することのできる人材 <p>法律学科では、以下に示すような人材を養成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎法学・実定法学の各分野における理論的・実践的な法学教育を通じて、法学の体系的・専門的な知識を身につけた人材 2. 身につけた知識を活用して、法的な問題の妥当な解決を図ることができるリーガル・マインドをもつ人材 3. 法曹、法律研究者、公務員および教員、民間企業などさまざまな分野で活躍することができる人材
文	日本文	<p>日本文学科は、その目的に基づいて、日本の文学・言語・芸能の歴史と現状を専門的に学び、国際化・情報化が進む21世紀社会において、自らの見解を自らの言葉で的確に発信できる人材の育成を教育目標としている。より具体的に言えば、以下のような資質・能力を備えた人材を育成することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本文学の作品世界のみならず、現代の様々な事象を繊細に感受できる豊かな感性 2. その感性によって感受した様々な事象について、論理的に分析・考察する能力 3. その分析・考察の結果を独自の世界や思想を構築することに結びつけられる創造性 4. それら一連の成果を社会に向かって魅力的に発信していく表現力
	史	<p>史学科(通信教育課程)では具体的な史料に基づいて歴史学の方法論を習得することによって、「歴史を見る眼」を持った社会人を育成すると同時に、歴史学への学問的関心を深めることを目標としている。歴史学研究の根本は、史料を活用した史実の解釈ないし体系化にあるが、こうした方法による史実の理解には、史料を博捜しその価値を判断する能力や、史料活用方法に対する学習および実践的な訓練が不可欠の課題となる。これらを総合的に学習することによって、現代社会、さらには未来への展望をも含めた人類史を、「歴史を見る眼」から判断することのできる人材を育成する。また、史学科における学習と実践的訓練の積み重ねが、さらに高度な専門的自立的研究を進めるための基盤となるようにする。</p>
	地理	<p>地理学科は、学科が提供するカリキュラムの下、以下に示すような人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理学の方法論を学ぶことによって地理学的視点から「地域の特性」を理解する能力をもった人材。 2. 地理学的見方・考え方から得られた「地域の特性」を自ら社会に発信する意欲をもった人材。 3. 地理学的見方・考え方により得られた「社会的な課題」に対し、自ら率先して取り組み、解決する能力を持った人材。
経済	経済	<p>基本的な経済科目を学ぶ中で、システム、情報、環境といったテーマからグローバル経済の諸問題を考察・解決するための高度な能力と素養を身につけることを教育目標とする。そのため、経済のしくみや法則を研究するための基礎理論を修得し、それをベースに経済現象を多角的、総合的、体系的に理解できる能力を養うことを重視する。</p>
	商業	<p>企業のグローバル化・ソフト化の進展とともに、企業の課題が、商品の販売を主眼とする商業学的視点から、生産から販売までの管理・運営を考える経営学的な視点に移ってきた。商業学科では、こうした時代に即応し、経営・会計関係の科目を中心としながら、広く経済学や法律学の科目も学べる機会を提供し、実社会で通用する問題発見力・課題解決力を養うことを教育目標とする。</p>